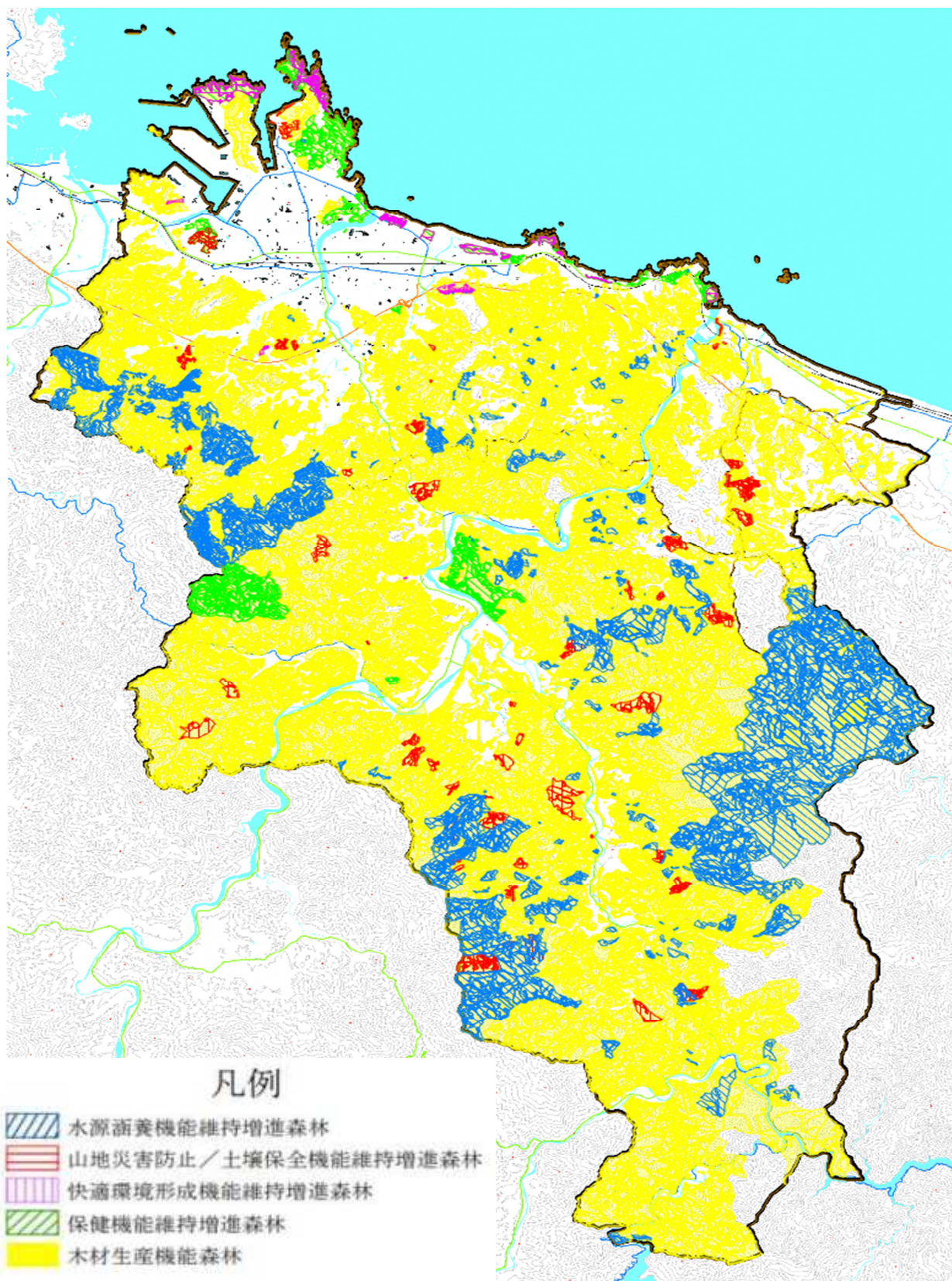


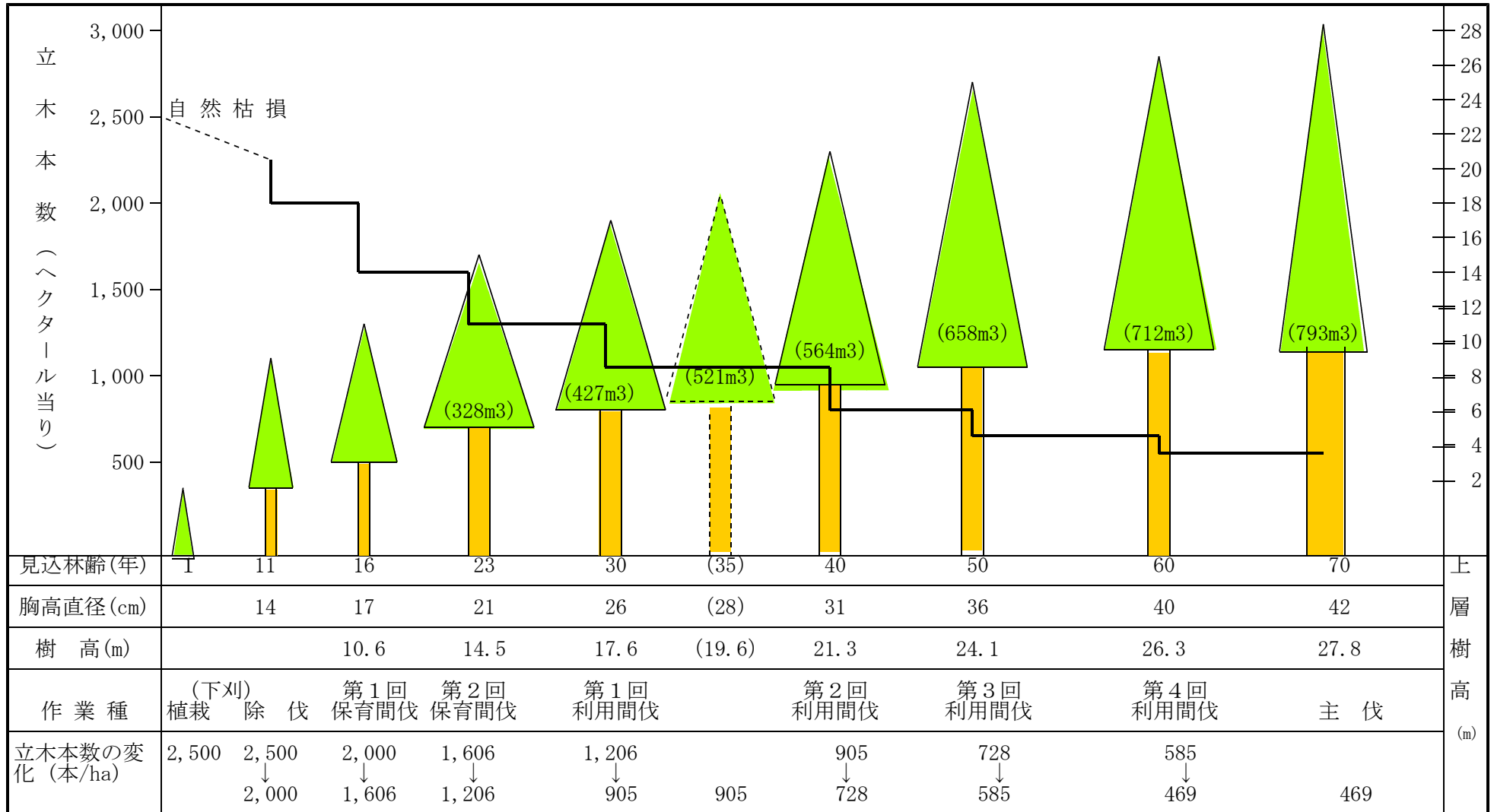
# 日向市ゾーニング図(市町村版)



7 その他

(1) 施業方法別の施業体系図

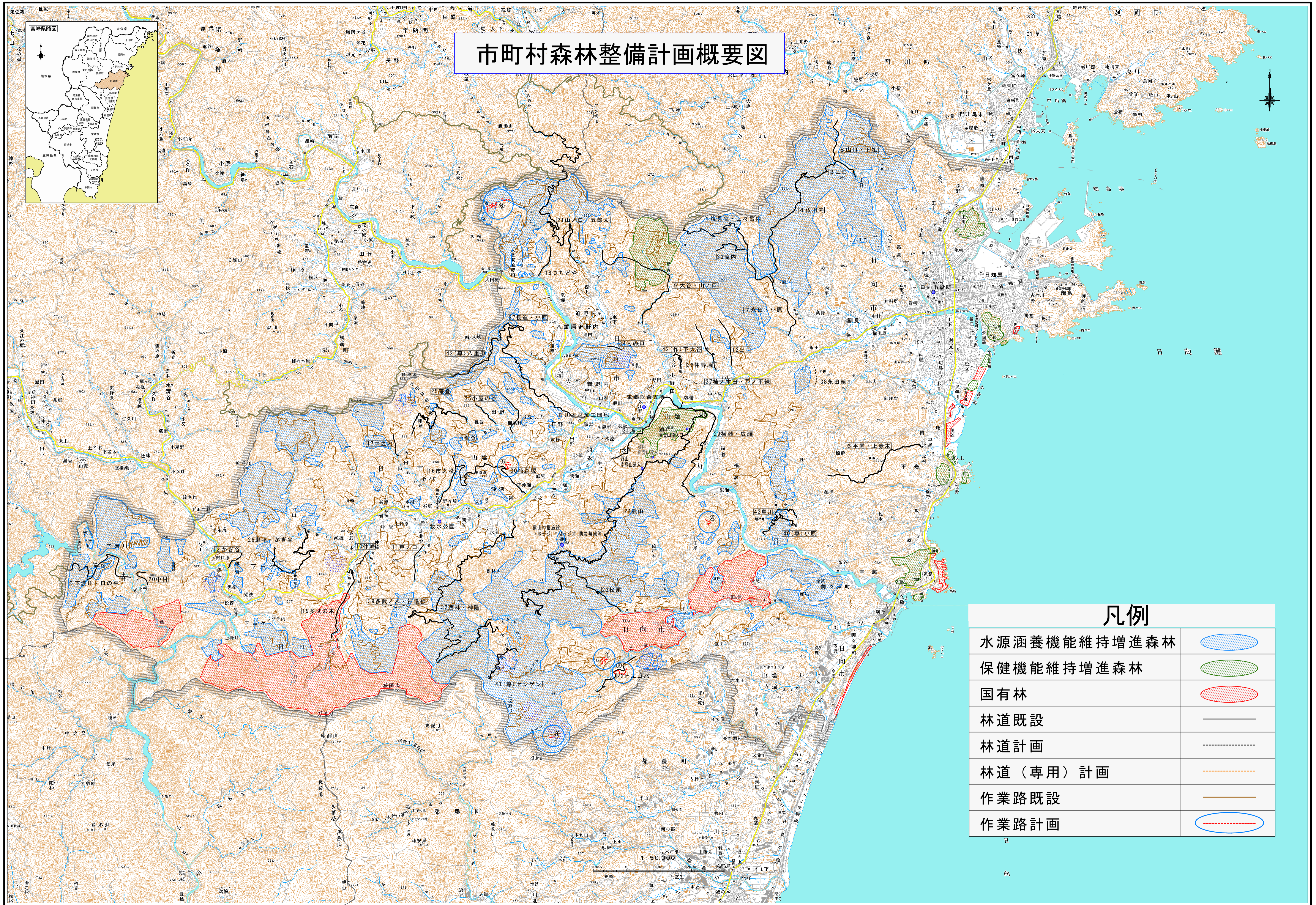
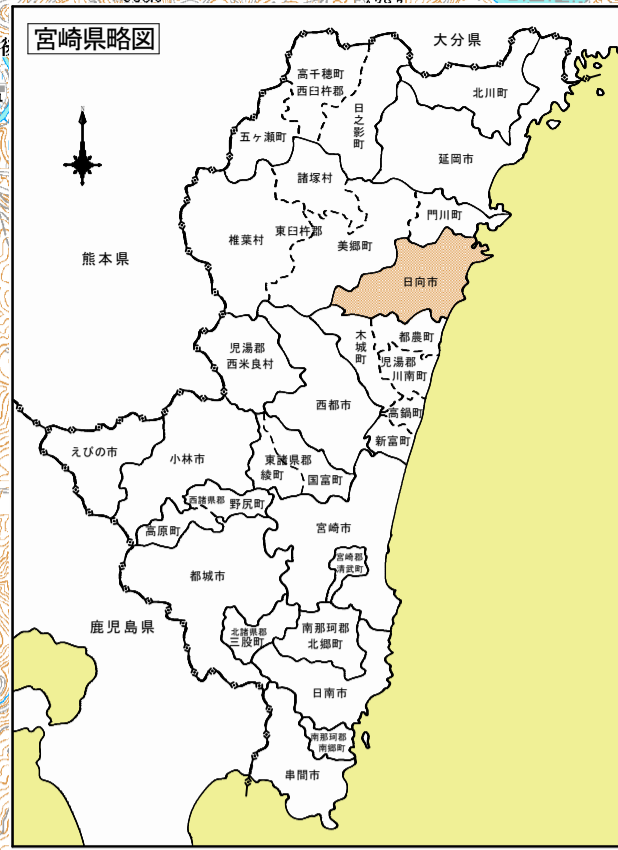
長伐期施業育林体系の例 (スギ 地位Ⅱ 70年伐期)



注 : ( ) 内の数字は、ha当たりの立木材積

資料 : 『宮崎県長伐期施業技術指針』

# 市町村森林整備計画概要図



## 凡例

水源涵養機能維持増進森林	
保健機能維持増進森林	
国有林	
林道既設	
林道計画	
林道（専用）計画	
作業路既設	
作業路計画	

# 宮崎県天然更新完了基準

改正 平成 24 年 2 月

平成 19 年 10 月

## 1 目的

天然力を活用した更新の完了を判断する基準を作成し、地域森林計画等に規定する適切な更新を図ることを目的とする。

## 2 天然更新対象地

本基準の対象となる森林は、更新を行う箇所のほか、気象害等による更新不成績地等とする。

## 3 天然更新対象樹種

天然更新対象樹種は、針葉樹及びアカメガシワ、カラスザンショウ等の先駆性樹種、ブナ科、ニレ科、クスノキ科等の広葉樹であって、将来高木となりうる樹種（以下「更新対象樹種」という。）を対象とする。（別紙「宮崎県天然更新完了基準 主要更新対象樹種一覧表」参照。）

なお、タケ類が優先する箇所は、竹林として取り扱う。

## 4 天然更新完了の基準

(1) 更新対象地において、概ね均等に、樹高 0.5m 以上の更新対象樹種が ha 当たり約 3,000 本以上（立木度 3 以上）生育していること。

なお、ぼう芽により一株当たり 3 本以上発生した更新対象樹種については、3 本として計上する。

$$\text{立木度} = \frac{\text{現在の林分本数}}{\text{当該林分の林齢に対応する期待成立本数}} \quad (\text{十分率})$$

※期待成立本数は、ha 当たり 10,000 本とする。

(2) (1)の条件を満たさない場合は、補植等を実施し、確実な更新を図るものとする。

(3) (1)の条件を満たす場合であっても、獣害により健全な生育が期待できないおそれがある場合や作業路の開設等の影響により土砂流出や林地の荒廃が見られる場合は、速やかに防除対策又は土砂流出防止対策等、適切な対策を実施する。

## 5 更新調査の方法

### (1) 調査の時期

更新調査は、伐採後おおむね 4 年を経過した時点で実施する。

### (2) 調査方法

調査の方法は、原則として標準地調査とする。ただし、現地の状況から明らかに更新完了の確認ができる場合は目視とすることができる。

(3) 標準地調査プロットの設定

調査プロットは、植生の繁茂状況及び地形等を勘案し標準的な箇所を選定することとし、調査プロット数は次のとおりとする。

- ① 対象地が1 ha 未満の場合は、1 箇所以上
- ② 対象地が1 ha 以上～5 ha 未満の場合は、2 箇所以上
- ③ 対象地が5 ha 以上～10ha 未満の場合は、3 箇所以上
- ④ 対象地が10ha 以上の場合は、10ha から5 ha 増すごとに4 箇所に1 を加算した箇所以上

(4) 標準地調査プロットの大きさ

1プロットは25 m<sup>2</sup>とし、5 m×5 mの方形又は半径2.8mの円形で設定する。

(5) 添付書類

調査箇所毎に、野帳（目視の場合は除く。）及び全景、近景の写真を各1部ずつ添付する。

(6) その他

補植以外の更新補助作業を実施した場合は、一定の経過観察期間において、再度、天然更新完了を判断する調査を実施すること。

6 その他

今後、天然更新の状況調査を踏まえ、必要に応じて当該基準の見直しを検討する。

【別紙】

(参考資料)

ア	樹種名	科名	樹高別	常緑/落葉	先駆種	備考	シ	樹種名	科名	樹高別	常緑/落葉	先駆種	備考
	アオギリ	アオギリ	高木	落葉	○	*	シ	シオジ	モクセイ	高木	落葉		*
	アオダモ	モクセイ	高木	落葉				シナノガキ	カキノキ	高木	落葉		*
	アオハダ	モチノキ	高木	落葉				シナノキ	シナノキ	高木	落葉		*
	アカガシ	フナ	高木	常緑		*		シュロ	ヤシ	高木	常緑		*
	アカシデ	カバノキ	高木	落葉		*		シロカシ	フナ	高木	常緑		*
	アカマツ	マツ	高木	常緑	○			シリフカガシ	フナ	高木	常緑		*
	アカメカシワ	トウダイグサ	高木	落葉	○	*		シロダモ	クスノキ	高木	常緑		*
	アカメヤナギ	ヤナギ	高木	落葉		*	ス	スギ	スギ	高木	常緑		*
	アキニレ	ニレ	高木	落葉		*		スタジイ	フナ	高木	常緑		*
	アサガラ	エゴノキ	高木	落葉		*	ヤ	セシダン	セシダン	高木	落葉		*
	アサダ	カバノキ	高木	落葉		*		タブノキ	クスノキ	高木	常緑		*
	アズキナシ	バラ	高木	落葉		*		タマミズキ	モチノキ	高木	落葉		*
	アスナロ(ヒバ)	ヒノキ	高木	常緑		*		タマシヨウ	モチノキ	高木	常緑		*
	アベマキ	フナ	高木	落葉		*	チ	チシヤノキ	ムラサキ	高木	常緑		*
	アラカシ	フナ	高木	常緑		*		チドリノキ	カエデ	高木	落葉		*
	アワフキ	アワフキ	高木	常緑		*	ツ	ツガ	ツガ	高木	常緑		*
	イイギリ	イイギリ	高木	落葉	○			ツクバネガシ	フナ	高木	常緑		*
	イイノキ	イイノキ	高木	常緑		*	ト	トチノキ	トチノキ	高木	落葉		*
	イタヤカエデ	カエデ	高木	常緑		*	ナ	ナギ	マキ	高木	常緑		*
	イチイ	イチイ	高木	常緑		*		ナタオレノキ	モクセイ	高木	常緑		*
	イチイガシ	フナ	高木	常緑		*		ナツツバキ	ツバキ	高木	常緑		*
	イチヨウ	イチヨウ	高木	落葉		*		ナナカマド	バラ	高木	落葉		*
	イヌエンジュ	マメ	高木	常緑		*		ナナミノキ	モチノキ	高木	常緑		*
	イヌガシ	クスノキ	高木	常緑		*		ナラカシワ	フナ	高木	常緑		*
	イヌガヤ	イチイ	高木	常緑		*		ナンキンハゼ	トウダイグサ	高木	落葉		○
	イヌザクラ	バラ	高木	落葉		*	ニ	ニガキ	ニガキ	高木	落葉		*
	イヌシデ	カバノキ	高木	落葉		*		ニワウルシ	ニガキ	高木	落葉		*
	イヌフナ	フナ	高木	落葉		*	ネ	ネコノチヂ	クロウメモドキ	高木	常緑		*
	イヌマキ	マキ	高木	常緑		*		ネムノキ	マメ	高木	落葉		○
	イロハモミジ	カエデ	高木	常緑		*	ノ	ノグルミ	クルミ	高木	常緑		○
	ウバメガシ	フナ	高木	常緑		*	ハ	ハクウソク	エゴノキ	高木	落葉		*
	ウラジロガシ	フナ	高木	常緑		*		バクチノキ	バラ	高木	常緑		*
	ウラジロノキ	バラ	高木	落葉		*		ハクノキ	ウルシ	高木	常緑		○
	ウリハダカエデ	カエデ	高木	落葉		*		ハナガガシ	フナ	高木	常緑		*
	ウロミズザクラ	バラ	高木	落葉		*		ハネミイヌエンジュ	マメ	高木	常緑		*
	エゾエノキ	ニレ	高木	落葉	○	*		ハマセンダン	ミカン	高木	常緑		*
	エドヒガン	バラ	高木	落葉		*		ハマビウ	クスノキ	高木	常緑		*
	エノキ	ニレ	高木	落葉		*		ハリエンジュ	マメ	高木	常緑		○
	オオバアサガラ	エゴノキ	高木	落葉		*		ハリギリ	ウコギ	高木	落葉		*
	オオモミジ	カエデ	高木	常緑		*		バリバリノキ	クスノキ	高木	常緑		*
	オガタマノキ	モクレン	高木	常緑		*		ハリモミ	マツ	高木	常緑		*
	オニグルミ	クルミ	高木	落葉		*		ハルニレ	ニレ	高木	落葉		*
	カキノキ	カキノキ	高木	落葉		*		ハンノキ	カバノキ	高木	常緑		*
	カゴノキ	クスノキ	高木	常緑		*	ヒ	ヒノキ	ヒノキ	高木	常緑		*
	カジカエデ	カエデ	高木	落葉		*		ヒメシャラ	ツバキ	高木	常緑		*
	カジノキ	クワ	高木	落葉		*		ヒメユズリハ	ユズリハ	高木	常緑		*
	カシワ	フナ	高木	落葉		*	フ	フサザクラ	フサザクラ	高木	落葉		*
	カツラ	カツラ	高木	常緑		*		フナ	フナ	高木	落葉		*
	カナクギノキ	クスノキ	高木	落葉		*	ハ	ハラノキ	シナノキ	高木	落葉		*
	カヤ	イチイ	高木	常緑		*	ホ	ホオノキ	モクレン	高木	常緑		*
	カラスザンショウ	ミカン	高木	落葉	○	*		ホソバタブ	クスノキ	高木	常緑		*
	キハダ	ミカン	高木	落葉		*		ホルトノキ	ホルトノキ	高木	常緑		*
	キリ	ノウゼンカズラ	高木	落葉		*	マ	マテバシイ	フナ	高木	常緑		*
	クスノキ	クスノキ	高木	常緑		*		マルバアオダモ	モクセイ	高木	落葉		*
	クヌギ	フナ	高木	常緑		*	ミ	ミズキ	ミズキ	高木	常緑		*
	クマシデ	カバノキ	高木	落葉		*		ミズナラ	フナ	高木	落葉		*
	クマノミズキ	ミズキ	高木	落葉		*		ミズメ	カバノキ	高木	常緑		*
	クリ	フナ	高木	常緑		*		ミツデカエデ	カエデ	高木	落葉		*
	クロガネモチ	モチノキ	高木	常緑		*	ム	ムクノキ	ニレ	高木	落葉		*
	クロキ	ハイノキ	高木	常緑		*		ムクロジ	ムクロジ	高木	落葉		*
	クロバイ	ハイノキ	高木	常緑		*	モ	モチノキ	モチノキ	高木	常緑		*
	クロマツ	マツ	高木	常緑		*		モチクク	ツバキ	高木	常緑		*
	ケヤキ	ニレ	高木	落葉		*		モミ	マツ	高木	常緑		*
	ケヤマハンノキ	カバノキ	高木	落葉	○	*	ヤ	ヤブツバキ	ツバキ	高木	常緑		*
	ケンボナシ	クロウメモドキ	高木	常緑		*		ヤブニッケイ	クスノキ	高木	常緑		*
	コウヤマキ	コウヤマキ	高木	常緑		*		ヤマグルマ	ヤマグルマ	高木	常緑		*
	コシアブラ	ウコギ	高木	常緑		*		ヤマグワ	クワ	高木	落葉		*
	コジイ(ツブラジイ)	フナ	高木	常緑		*		ヤマザクラ	バラ	高木	落葉		*
	コナラ	フナ	高木	落葉		*		ヤマナシ	バラ	高木	落葉		*
	コハウチワカエデ	カエデ	高木	常緑		*		ヤマハンノキ	カバノキ	高木	落葉		○
	コバノチヨウセンエ	ニレ	高木	落葉		*		ヤマボウシ	ミズキ	高木	落葉		*
	コバンモチ	ホルトノキ	高木	落葉		*		ヤマモガシ	ヤマモガシ	高木	常緑		*
	コブシ	モクレン	高木	落葉		*		ヤマモモ	ヤマモモ	高木	常緑		*
	ゴウウマツ	マツ	高木	常緑		*	ユ	ユクノキ	マメ	高木	落葉		*
	ゴンスイ	ミツパウツギ	高木	落葉		*		ユズリハ	ユズリハ	高木	常緑		*
	サイカチ	マメ	高木	落葉		*	リ	リュウブ	リュウブ	高木	落葉		*
	サワグルミ	クルミ	高木	落葉		*							
	サワラ	ヒノキ	高木	常緑		*							

注)備考の欄の「\*」は、ぼう芽の樹種を示す。

(参考資料)

天然更新完了確認調査票(野帳)※一調査対象地ごとに作成

NO \_\_\_\_\_

市町村名 \_\_\_\_\_

①調査年月日	平成 年 月 日								
②調査者	所属名								
	氏名								
③調査地	林班	小班			面積(ha)	更新対象面積(ha)	伐採年	伐採後経過年数	プロット番号
		記号	番号	枝番					
④調査結果	プロット1			プロット2			プロット3		
	樹種名	本数	樹高(cm)	樹種名	本数	樹高(cm)	樹種名	本数	樹高(cm)
⑤判定 (複数項目を選択し判定して下さい)	A・B・C・D	A 天然更新が完了							
		B 天然更新が一部完了(面積 ha)							
		C 天然更新補助作業(面積 ha、作業内容: )の実施が必要							
		D 人工造林(面積 ha)の実施が必要							
⑥添付するもの	森林計画図(調査地を図示したもの)								
	全景写真(1部)								
	近景写真(1部、樹高が推定できるもの)								

付属資料

3 参考資料

(1) 人口及び就業構造

①年齢層別人口動態

区分	年次	総計			0～14歳			15～29歳		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
実数 (人)	平成22年	63,223	29,864	33,359	9,245	4,763	4,482	8,234	4,103	4,131
	平成27年	62,009	29,670	32,339	8,690	4,468	4,222	7,391	3,784	3,607
	令和2年	59,629	28,372	31,257	8,052	4,113	3,939	6,712	3,505	3,207
構成比 (%)	平成22年	100.0	47.2	52.8	14.6	7.5	7.1	13.0	6.5	6.5
	平成27年	100.0	47.9	52.2	14.0	7.2	6.8	11.9	6.1	5.8
	令和2年	100.0	47.6	52.4	13.5	6.9	6.6	11.3	5.9	5.4

区分	年次	30～44歳			45～64歳			65歳以上		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
実数 (人)	平成22年	11,527	5,604	5,923	18,294	8,854	9,440	15,653	6,392	9,261
	平成27年	11,114	5,557	5,557	16,348	7,943	8,405	17,936	7,462	10,474
	令和2年	9,676	4,780	4,896	15,313	7,458	7,855	19,265	8,203	11,062
構成比 (%)	平成22年	18.2	8.9	9.4	28.9	14.0	14.9	24.8	10.1	14.7
	平成27年	17.9	9.0	9.0	26.4	12.8	13.6	28.9	12.0	16.9
	令和2年	16.2	8.0	8.2	25.7	12.5	13.2	32.3	13.8	18.6

区分	年次	年齢不詳		
		計	男	女
実数 (人)	平成22年	270	148	122
	平成27年	530	456	74
	令和2年	611	313	298
構成比 (%)	平成22年	0.4	0.2	0.2
	平成27年	0.9	0.7	0.1
	令和2年	1.0	0.5	0.5

(2020国勢調査)

②産業部門別就業者数等

区分	年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業
			農業	林業	水産業	小計		
実数 (人)	平成22年	28,732	1,550	297	273	2,120	8,501	18,111
	平成27年	29,064	1,582	284	257	2,123	8,642	18,299
	令和2年	30,163	1,431	321	259	2,011	8,762	19,390
構成比 (%)	平成22年	99.9	5.4	1.0	1.0	7.4	29.5	63.0
	平成27年	100.0	5.4	1.0	0.9	7.3	29.7	63.0
	令和2年	100.0	4.7	1.1	0.9	6.7	29.0	64.3

(2020国勢調査)

※実数の人数には、分類不能産業を除く。

(2) 土地利用

区分	年次	総土地面積	耕地面積						
			小計	田	畑	樹園地			
						果樹園	茶園	桑園	
実数 (ha)	平成22年	33,629	966	629	213	124	—	—	—
	平成27年	33,693	824	554	159	111	—	—	—
	令和2年	33,690	755	513	132	110	—	—	—
構成比 (%)	平成22年	99.4	2.4	1.6	0.5	0.3	—	—	—
	平成27年	100.0	2.4	1.6	0.5	0.3	—	—	—
	令和2年	98.6	2.2	1.5	0.4	0.3	—	—	—

区分	年次	草地面積	林野面積			その他面積
			計	森林	原野	
実数 (ha)	平成22年	38	26,197	26,197	—	6,428
	平成27年	2	26,148	26,148	—	6,230
	令和元年	52	25,546	25,546	—	6,834
構成比 (%)	平成22年	0.1	78.0	78.0	—	19.1
	平成27年	0.0	77.6	77.6	—	18.5
	令和元年	0.2	75.8	75.8	—	20.3

(2020農林業センサス)

※「—」はデータなし。

(3) 森林資源の現況等

①保有者形態別森林面積

R7. 3. 31現在

保有形態	総面積		立木地			人工林率 (B/A)	
	面積(ha) (A)	比率(%)	計	人工林 (B)	天然林		
総数	25,545.75	100.0	22,950.10	13,105.91	9,844.19	51.3	
国有林	2,007.37	7.9	1,977.36	1,206.70	770.66	60.1	
公有林	計	3,244.84	12.7	2,294.13	1,634.94	659.19	50.4
	県有林	593.50	2.3	551.75	425.18	126.57	71.6
	市有林	2,651.34	10.4	1,742.38	1,209.76	532.62	45.6
	財産区有林	0.00	0.0	0.00	0.00	0.00	0.0
私有林	20,293.54	79.4	18,678.61	10,264.27	8,414.34	50.6	

(耳川流域地域森林計画)

※森林法第2条森林

※「国有林」欄の( )書きは官行造林地、「県有林」欄の( )書きは県行造林の面積であり、それぞれ内数とする。

②民有林の齢級別面積

区分	総数	1 齢級	2 齢級	3 齢級	4 齢級	5 齢級	6 齢級	7 齢級	
民有林	22,858.91	171.18	307.62	324.53	458.46	570.31	915.37	692.00	
人工林計	計	13,103.37	171.18	301.68	320.82	307.35	439.52	622.75	493.78
	スギ	7,828.53	170.92	270.64	207.35	248.95	316.54	428.34	224.15
	ヒノキ	3,012.07	0.26	0.00	4.45	23.57	88.30	172.59	221.17
	その他 針葉樹	888.81	0.00	0.60	0.26	3.14	0.78	0.90	0.50
	クヌギ	1,140.78	0.00	3.75	32.28	3.48	3.21	4.34	40.84
	その他 広葉樹	233.18	0.00	26.69	76.48	28.21	30.69	16.58	7.12
	計	9,755.54	0.00	5.94	3.71	151.11	130.79	292.62	198.22
天然林計	計	82.76	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00
	針葉樹	82.76	0.00	0.00	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00
	広葉樹	9,672.78	0.00	5.94	3.60	151.11	130.79	292.62	198.22

区分	8 齢級	9 齢級	10 齢級	11 齢級以上	
民有林	746.19	1,307.39	2,168.53	15,197.33	
人工林計	計	458.74	893.17	1,562.65	7,531.73
	スギ	131.72	450.78	888.20	4,490.94
	ヒノキ	131.20	247.20	450.77	1,672.56
	その他 針葉樹	0.70	0.48	4.84	876.61
	クヌギ	185.03	192.31	203.96	471.58
	その他 広葉樹	10.09	2.40	14.88	20.04
	計	287.45	414.22	605.88	7,665.60
天然林	計	0.00	0.00	0.14	82.51
	針葉樹	0.00	0.00	0.14	82.51
	広葉樹	287.45	414.22	605.74	7,583.09

(宮崎県森林経営課)

※森林法第5条森林

③保有山林面積規模別林業経営体数

面積規模	保有山林なし	3ha未満	3~5ha	5~10ha	10~30ha	30~50ha	50~100ha	100~500ha	500ha以上	総数
林家数	6	1	11	15	23	5	7	7	1	76

(2020農林業センサス)

④作業路網の状況

(ア) 林道の現況

R7. 3. 31現在

区分	路線数	延長(km)	備考
基幹路網(林道)	35	126.76	
うち林業専用道	1	2.9	
うち軽車道	1	2.2	

(イ) 細部路網の現況

区分	路線数	延長(km)	備考
森林作業道	—	612.2	

(宮崎県森林経営課)

(4) 市町村における林業の位置付け

①産業別生産額

(単位：百万円)

総生産額 (A)		231,912
内 訳	第1次産業	7,816
	うち林業 (B)	768
	第2次産業	86,274
	うち木材・木製品製造業 (C)	—
	第3次産業	135,062

(R4 宮崎県の市町村民経済計算統計表)

※総生産の額は輸入品に課せられる税等を加算した数値なので、合計値と一致しない。

②製造業の事業所数、従事者数、現金給与総額

(R6年現在)

	事業所数	従事者数 (人)	現金給与総額 (万円)
全 製 造 業 (A)	105	4,719	1,915,798
うち木材・木製品製造業 (B)	22	682	320,872
B/A	21.0%	14.5%	—

(経済構造実態調査)

(5) 林業関係の組合・事業所の状況 (R8.1.1現在)

区 分	組合・事業所数
森林組合本所	1
森林組合日向支所	1
生産森林組合	12
素材生産業	44
流通・卸売業	3
製造 (材) 業	14
森林管理署	1
木材市場	2
合 計	78

(宮崎県森林経営課資料)

(6) 林業機械等設置状況 (R6.3.31現在)

(単位：台)

(高性能機械)	総数	会社	森林組合	個人	備 考
フェラーバンチャ	2	2	0	0	伐倒、木揃用自走式
スキッド	0	0	0	0	索引式集材車輛
プロセッサ	14	10	4	0	枝払、玉切、集積用自走機
ハーバスター	8	8	0	0	伐倒、枝払、玉切、集積用自走機
フォワーダ	7	6	0	1	グリップ付フォワーダ
タワーヤーダ	2	2	0	0	タワー付き集材機
スイングヤーダ	10	5	4	1	集材機
グラップルバケット	23	23	0	0	
計	66	56	8	2	

(宮崎県山村・木材振興課資料)

(7) 林産物の状況

種 類	素材	乾しいたけ	生しいたけ
	m <sup>3</sup>	t	t
生産量	92,200	17	1

(耳川流域地域森林計画)

(8) 森林経営管理制度による経営管理権の設定状況

番号	所在	現況 (面積、樹種、林齢、材積等)			経営管理実施権 設定の有無
		面積	樹種	材積	
		面積	樹種	材積	
		林齢			